

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-8 食の安全の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課長 伊藤 耕	電話番号	0852-22-5257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	食品流通対策事業		
目的	(1) 対象	県内食品製造・販売・提供事業者	
	(2) 意図	消費者が食料品を安心して購入・飲食できるように、JAS法及び米トレーサビリティ法に基づく食品表示の適正化を図る。	
事業概要	食品表示研修会開催業務：食品表示制度を周知するため、食品関係事業者に対して、研修会を開催する。 ホームページ等による食品表示に関する情報提供：県民や事業者へ食品表示に関する情報を提供するため、県のホームページ等で情報提供する。 食品表示相談業務：食品事業者が商品毎に適正な食品表示を行うよう、事業者から寄せられる表示相談を受け付ける。 食品表示監視業務：食品事業者に対し、適正に食品表示がされているかを調査し、不適正表示を行った事業者に対しては改善指導を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	事業者等からの食品表示相談件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		905	910	915	920	
式・定義	食料安全推進課で取り扱った事業者等からの食品表示に関する相談件数		実績値	971	783	1,028	1,166		件
			達成率		86.5	113	127.50		%
式・定義	指標名	適正表示率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		90	90	90	90	
式・定義	島根県内での生鮮食品表示調査における適正表示店舗の割合		実績値	96	97.6	90.2	87.0		
			達成率		108.40	100.20	96.70		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	3,392	5,386
うち一般財源(千円)	3,377	5,110

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・主催研修は6回（参加人数252人）開催し、出前講座は26回（参加人数705人）依頼があり、合計で対前年比74.1%であった。
- ・表示相談件数は対前年比113%であった。
- ・HP（食品ポータルサイト）へのアクセス数は6,020件と前年の5,617件を上回り、対前年比107%であった。
- ・監視業務は口頭指導が449件であった。
- ・食品表示実態調査は農産物直売施設を重点に調査し、その他道の駅売店等を実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・食品の産地偽装事件等、食に対する消費者の信頼が揺らぐ中、食品表示の適正化は重要になっており、監視、啓発、相談の3本柱で業務を実施し、相談については、過去最高の1,166件に対応した。
- ・食品表示実態調査において、適正表示率は87%で昨年を下回ったが、事業者に対する指導については口頭指導449件、文書指導1件で指示・公表案件はなかった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・農産物直売施設において、農産加工品（漬物等）の不適正表示が散見される。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・農産物直売施設では、多種多様な農産加工品が販売されているが、農家が直接出荷するものもあり、食品表示に対する知識不足が回える。

③原因を解消するための「課題」

- ・農産物直売施設に対して、引く続き監視・指導・講習会等を実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・平成27年4月1日、食品表示法が施行され、JAS法、食品衛生法、健康増進法に基づく表示基準が新しい表示基準として整理・統合されたことに伴い、本県においては、これまで法律ごとに分かれていた相談窓口を保健所に一元化し、相談しやすい体制を整備したことにより、今後一層食品表示の適正化を図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）